

医療福祉論

担当教員 竹中 健

配当年次 3年

単位区分 選択

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 医療保険制度（診療報酬に関する内容も含む）の概要が理解できる。
2. 医療ソーシャルワークの専門援助活動が理解できる。
3. 保健医療サービスの概要と保健医療サービスにおける多職種協働が理解できる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	戦後の保健医療サービスの整備・拡充の歴史、医療費に関する政策動向を理解させる。
3	多様な居住の場における在宅療養やターミナルケアを支援する診療報酬制度を理解させる。
4	自立支援医療、公費負担医療制度の概要を理解させる。
5	医療施設の機能・類型を理解させる。〔熊本県救護施設協議会より高尾純子氏をお招きする〕
6	介護保険制度（介護施設の基準・類型）と介護報酬制度の概要を理解させる。
7	医療、保健、介護の連携による在宅支援のシステムを理解させる。
8	医療ソーシャルワーカーと各専門職の視点と役割の実際を理解させる。
9	インフォームドコンセントの意義と実際を理解させる。
10	医療ソーシャルワーカーの歴史、資格化の議論、業務の枠組みを理解させる。
11	ミクロ、メゾ、マクロの視点から医療ソーシャルワーク業務の内容を理解させる。
12	医療連携やチーム医療の推進について、社会福祉士や精神保健福祉士の役割や業務を理解させる。
13	医師、保健師、看護師等の医療チームアプローチや機関・団体との連携方法と実際を理解させる。
14	地域の社会資源との連携、地域包括ケアにおける保健医療サービスの位置づけと役割を理解させる。
15	まとめ

【履修上の注意事項】

講義予定の範囲について、テキストをあらかじめよく読み、毎回予習をしておくこと。講義に際しては、教科書の該当箇所を事前に最低30分は学習するとともに、講義後にも最低15分は講義内容の再確認を行うこと。

【評価方法】

講義内で実施する5回のミニテストの結果（各回100点満点：合計500点満点）をもとに総合的に判定する（100％）。

【テキスト】

社会福祉士養成講座編集委員会編『保健医療サービス』中央法規（最新版）

【参考文献】

講義中に適宜紹介する。